

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和6年2月10日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670300666
法人名	(有)イーライフ
事業所名	グループホーム明
所在地	鹿児島県鹿屋市祓川町3982番地1 (電話) 0994-43-0550
自己評価作成日	令和5年12月25日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	令和6年1月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

平成15年に開設施設の理念である安心安全で穏やかな暮らし、健康で快適な温もりのある暮らし、認知症になっても普通の生活が続けられる暮らし、地域と共に支え支えられる明るい暮らしを実現出来る様に職員一同取り組んでいます。又看取り希望のご家族も多い為、医療機関や訪問看護サービスと連携医療体制を整えている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは市街地から少し離れた住宅地にあり、近くには医療機関、薬局、保育園等があり、静かで自然豊かな環境にある。ホームの玄関やホール、会議室には開設当初からの理念を掲示し、3か月毎の支援目標を設定して職員間で話し合い、意見交換等で振り返りを行って、理念に沿った支援となるように取り組んでいる。

「地域とともに支え支えられる明るい暮らし」を目指し、地域との触れ合いや交流に努めている。町内会に加入して有線放送による地域の情報の把握、地域の清掃活動への参加、地域住民から野菜等の差し入れを頂いたり、近隣の散歩・保育園児の散歩時に挨拶を交わすなど、地域との良好な関係の構築に努めている。町内会長は地域のホームページを開設しており、ホームについての紹介等の掲載を勧められ、準備中である。

利用者が楽しみにしている食事は、冷蔵庫にある材料も活かし利用者の希望を取り入れながら、3食全てを職員が調理している。利用者の状態に応じて、刻み・ミキサー等の食事形態にも工夫を凝らし、高カロリー栄養補助食品等での提供も行っている。利用者は発揮できる能力に応じて手伝い、行事食、誕生会の手作りケーキ、そばがきや月見団子作り、テラスでのお茶等、本人の気持ちを大切にすることが楽しみとなるように支援している。

現在、面会は予約不要で、時間等の制限は設けず、自由に会いたい人に会うことができる。電話や手紙の取り次ぎ、家族との受診・外出・外泊・買い物、墓参り、馴染みの美容院や精米所に一緒に出掛けるなど、利用者毎の馴染みの情報を職員間で共有し、これまでの生活が続けられるような関係が継続できるように努めている。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅰ．理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり，管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を職員がいつでも確認できる場所に掲げより良いサービスが提供できるように取り組んでいる。	開設当初からの理念をホール・玄関・会議室に掲示して、職員会議等で振り返りを行っている。3か月毎の支援目標を職員間で話し合っってホールに掲示し、意見交換等で振り返りを行っている。管理者は理念に沿ったケアとなるように繰り返し職員に声かけして意識付けを図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう，事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナウイルスやインフルエンザの感染予防のため地域との交流が難しくなっているが、奉仕作業などに参加し少しでも交流が図れるようにしている。	町内会に加入し、有線放送により地域の情報を把握している。地域の清掃活動に参加し、地域住民から野菜等の差し入れを頂いたり、近隣の散歩・保育園児の散歩時に挨拶や交流を図っている。町内会長は地域のホームページを開設し、ホームについての紹介等の掲載を勧められている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	以前は地域の小学校との交流会や施設行事への参加を通し認知症の理解を深めたり介護相談を行っていたが現在は感染症予防のため実施できていない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進委員会にてサービス状況等を報告し率直な意見を頂きサービスの質の向上に努めている。	外部から直接入れるホームの会議室を会場として、2か月毎に会議を開催している。家族代表、町内会長、民生委員、消防団長、元市議や教師等の学識経験者、行政職員等が参加して、活動・運営報告、ヒヤリハット等について協議や意見交換等を行い、サービスの向上に反映させている。会議の議事録は、玄関で閲覧可能となっている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	サービスや取り組みなど運営推進委員会にて市や包括支援センターの方に報告、相談をし協力関係を築いている。	市の高齢福祉課や地域包括支援センターとは日頃から協力関係を築いており、介護保険の更新や諸制度の申請、集団指導、実地指導等について電話やメール、窓口へ出向いて指導・助言等を頂いている。市やグループホーム協議会主催の研修会には職員が交替で参加し、地域の認知症カフェに参加している職員を通じて情報把握にも努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を発足しマニュアルや指針の作成及び見直し、また勉強会の実施や研修会への参加を通し理解を深め身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	「身体拘束適正化マニュアル」に基づき、身体拘束・虐待・権利擁護に関する研修会を実施し、毎月のケア会議で身体拘束の弊害や対策について話し合い、認識を共有している。身体拘束適正化のための会議を3か月毎に開催し、特にスピーチロックに関しては、その場で気付いた職員同士で声をかけ合って繰り返し確認し、意識付けを図り身体拘束のないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待の勉強会の実施、研修会に参加することで理解を深め職員間も注意を払える環境を作り虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護についての研修会に参加し学ぶことで利用者が施設での生活を安心して送る事が出来る様に支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の締結、契約時は十分な説明を行い疑問や不安点を聞き取り説明している。改定時も説明を行い理解、納得を図るよう心掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会時に利用者の現状報告を行い要望や意見を聞き取りをしている。面会が難しい方は電話連絡やSNSを使用している。玄関に意見箱を設置している。	自分の意見や思いを伝えられない利用者が多いが、職員は僅かな訴え・表情・仕草等から利用者の思いを汲み取るように努めている。家族の意見等は面会・電話・LINE等で把握に努めているが、家族会を通してホームのことや利用者の様子・受診等について報告し、意見や感想等を頂き、運営に反映できるように取り組んでいる。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月会議を開催し職員の意見や提案を聞き運営に反映している。	管理者は、お互いに助け合う気持ちを大切にして職員と接し、申し送り・職員会議・食事時間等を通して職員の声に耳を傾け、新規職員や休職していた職員には面談を実施して、話す機会を設けている。希望休や有休の取得・勤務交替等の調整を行い、気持ちよく働ける職場環境づくりに取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員の勤務希望を取り入れるようにし、働きやすい職場環境作りを行っている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勉強会や研修会の参加の機会を確保し研修報告書を提出し情報の共有を図っている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者の方々と意見交換できるようなネットワーク作り指導を頂きながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居後家族からの情報、本人の要望等聞き少しでも早く安心して過ごせる様傾聴し信頼関係を築いている。また日々でも生活の中での言動の変化にも気付き対応できるようにしている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族も高齢になる中で困っている事や不安に思うことなど聞く事ができる関係作りをしている。面会しやすい雰囲気作りに努め定期的に現状報告を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に最優先する支援課題を見極めるため本人及び家族から情報収集をし早期対応できるように心掛けている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	残存機能の活用ができるように工夫を行っている。利用者が積極的にまた快く家事手伝い等が行えるように職員は生活を共にしている者という関係性を大切にし雰囲気作りをしている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には日々の生活の暮らし中の出来事など情報共有、現状報告を行っている。病院受診の同行や家族会への参加を促し家族と共に支える支援を目指している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会や外出支援を通じ馴染みの場所や人との繋がりを支援している。	面会は予約不要で、時間・回数・面会人数等の制限は設けず、自由に行うことができる。電話や手紙の取り次ぎ、家族との受診・外出・外泊・買い物、墓参り、馴染みの美容院や精米所に一緒に出掛けるなど、利用者毎の馴染みの情報を職員間で共有し、関係が途切れないような支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	生活の様子や個々の性格を把握し親しい関係が築けるように座席の配慮や会話の橋渡し等の支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後も家族からの相談を受けたり必要に応じて対応できる支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ひとり一人の思いや暮らし方の希望、意向の聞き取りを行い把握し困難時は本人本位にしている。	利用者の日頃の様子・状況を職員が共有しており、普段と違和感を感じる時には理由を考え、筆談の利用者には内容をよく考えて支障のない文面にするなど、利用者の様子を見守りそれぞれの状況に合わせた支援に心がけている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入所前に本人、家族、ケアマネ等が面談しこれまでの生活状況やサービスの利用を把握するようにしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	バイタルチェックや心身の状態の観察を行い状況に応じて一日の過ごし方を工夫している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	課題に応じて本人、家族を交えて話し合いを行い意見を基に職員間でも会議をしアイデアを出しケアプランに反映させている。	利用者や家族の思いや意向を基に6か月毎に介護計画を作成しているが、特に利用者の希望や楽しみにしていることを大事にして、短期目標に合わせてモニタリングを実施し、主治医からは訪問診療時に指示を貰って、計画に反映させている。入退院等で状態に変化があった場合には、計画を見直して現状に即した計画となるように修正している。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日個別記録を記入し、職員間で情報を共有し実践や、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	本人家族にとって最善の選択が出来る様に、その時々生まれたニーズに対して柔軟なサービスの多機能化に取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしが出来る様に、地域資源の把握に努めている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族の希望されるかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、受診時の状態報告等適切に行い必要な医療が受けられる様に支援している。	利用者や家族が希望する医療機関での治療が継続できるように支援している。協力医療機関からは月1～2回、他の医院からは2か月毎の訪問診療を、訪問看護は毎週、訪問歯科は必要時に受けることができ、精神科等の専門科受診には家族と職員が連携して支援している。夜間は全利用者の主治医による対応が可能である。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調変化等があれば看護師に伝えて適切な受診や看護が受けられる様に支援している。又訪問看護サービスを週1回受けているので何かあれば相談等行い、指示貰っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者が入院した場合はホームから情報を行い安心して治療出来る様に努めている。入院中も病院へ出向き状態の聞き取りして病院関係者との関係作り行っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期には主治医や訪問看護も交えて話し合いを行い、事業所で出来る事を家族へ十分説明し、方針を共有してチームで支援に取り組んでいる。	「重度化した場合の対応に係る指針」を整備し、「急性期における医師や医療機関との連携体制」や「看取りに関する指針」と共に家族に説明し、意思確認も行ってホームでの看取りを行っている。ホームでの看取りを希望されることが多く、方針を共有して主治医・家族・関係者間で共にチーム支援ができるように取り組んでいる。看護師主催のスキルアップのための研修を実施し、看取り終了後は振り返りや意見交換等を行って、不安の軽減やスキルアップを図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアルを作成し急変時や事故発生時に備えフローチャートを掲示している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署、消防団の、地域住民の協力、参加を得て避難訓練を年に2回実施している。	火災、台風・大雨洪水、地震に対応した「防災マニュアル」やBCP計画を作成し、消防署立ち会いで昼夜想定 of 災害訓練を年1回、防災警備会社と共に自主訓練を年1回実施している。地域住民には町内会長を通じて連絡してもらい、数名の参加協力を貰っている。自動通報装置には職員の連絡先も含まれており、避難ができた居室には「済」の表示を掲示するように工夫している。備蓄は米・水・缶詰・レトルト等を備え、ラジオ・懐中電灯も準備して防災対策に取り組んでいる。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅳ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	排泄や更衣等は個室またカーテンを使用している。また排泄の有無など他者に聞こえないよう心掛けて個人情報に注意しプライバシーの確保。人格尊重に心掛けている。	「プライバシー保護ガイドライン」を作成し、権利擁護についての研修会を実施している。居室入口の名札は希望者と部屋がわからない利用者のみとし、入室時のノック、トイレのドアやカーテンを閉める、入浴の同性介助への対応等に配慮し、プライバシーを損ねない言葉遣いやケアに努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思いや要望など傾聴し気持ちよく自己決定できるよう支援している。意思表示が困難な方は状態観察を行い思いを汲み取る努力をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床時間や食事時間など可能な範囲で本人の希望に添うように支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	洋服は本人に選んで頂けるように支援している。また散髪など本人に希望のスタイルのカットし整髪料やクリームなど使用している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	重度化に伴い食事の準備や片付けは困難であるが、嗜好品や行事食の提供を行いまた献立を伝え少しでも食事を楽しめるように支援をしている。	冷蔵庫にある材料も活かし、利用者の希望を取り入れながら、3食全てを職員が調理している。利用者の状態に応じて、刻み・ミキサー・とろみ・高カロリー補助飲料等の形態でも提供しており、利用者は下拵え等を手伝い、おやつ作りも楽しんでいる。行事食、誕生会の手作りケーキ、テラスでのお茶等、食べる楽しみを大切に支援している。	

12

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々に合わせた食事量、水分量の調整を行っている。進みが不良の方には提供内容を変更するなど工夫をし栄養、水分が摂取できるよう工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後の口腔ケアを実施し口腔内の清潔保持に努めている。口腔内の食残や舌苔の確認し誤嚥防止に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の状態に合わせオムツの種類の検討やトイレ誘導を行い気持ちよく排泄できるようにしている。	利用者毎の排泄チェック表を活用して、日中はできるだけトイレでの排泄を支援している。トイレに誘導する際には、近づいて声かけし、ジェスチャーを交えて無理強いしないように気を付けている。利用者の殆どが緩下剤を使用しており、水分・芋類・ヨーグルト・牛乳等の摂取を促し、体操、腹部マッサージ等も取り入れて、改善を図っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便困難の方には主治医の指示のもと内服薬を使用しているが出来る限り内服薬に頼らず水分摂取の働きかけや乳製品の摂取を勧め自然排便を促せるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	個々の体調管理を行い入浴日の決定、浴室の温度、お湯の温度の調整を行い気持ちよく入浴出来る様にしている。入浴が楽しみと思えるように支援している。	入浴は個浴で週3日、自家水使用のため1ユニットずつしか実施できず、午前に1ユニット、午後に別のユニットと分けて実施している。利用者の状況や希望に応じての入浴や2人介助・同性介助も対応可能である。入浴剤使用やゆず湯等もあり、入浴をためらう場合には無理強いせずに柔軟に対応している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個々の状況を観察しどんな状況でも安心して気持ちよく入眠、休息できるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々の内服薬の把握、誤薬予防のためダブルチェックを行っている。服薬前後の状態観察も行い体調不良等の変化に気付けるよう支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の性格を把握しそれぞれに合う楽しみ方を提供し楽しみや喜びのある生活が送れるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	感染症の影響により外出の制限があったが緩和により可能な範囲で外出支援をしている。家族や地域の方の協力も得て外出できるような支援を心掛けている。	季節の花見は桜・紫陽花・ツツジ・秋桜など、少人数のドライブで降車してジュースを飲むなどして楽しんでいる。初詣はホールの壁に鳥居と門松を作ってお参りし、近隣の散歩では気温変化を感じてもらうことも大事ではないかと考えている。コロナ禍では、ホームで過ごす時間が長くなり、工作、スポーツ観戦・カラオケ・体操・脳トレ・ゲーム等を楽しみ、工夫してリフレッシュを図っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は預り金とし保管している。希望に応じて使用できるようにしました受診時など売店で買い物をして頂いている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	手紙の代読を行ったり、電話の希望があれば家族や友人に可能な範囲で電話をしている。またタブレットでリモート会話も出来るように支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に写真や花など飾ったり、ユニット食堂には季節を感じられる作品などを掲示している。室温、湿温を定時に確認し過ごしやすい環境作りをしている。	明るく広いホールには利用者と職員が一緒に作った季節の飾り、神社の鳥居、カレンダー（目めくり、手作り）、時計、家族の差し入れによる生花、観葉植物等が飾られている。台所は対面式でないため、鏡を設置して利用者の様子がわかるように工夫している。空気清浄機、加湿器が設置され、換気も実施して空調管理にも配慮され、利用者は好みの場所で自由に過ごしている。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	個々が好きな場所ですごせるよう場所の提供を行っている。気の合う利用者同士が会話ができるように席の配置の工夫をしている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室に写真を飾ったり家族からの贈り物や位牌など目の届く所におき心地よく過ごせるように工夫している。	居室は全室フローリングで腰高窓仕様となっている。エアコン、電動ベッド、クローゼット、タンス、壁にはコルクボードが備えられ、利用者は使い慣れたテレビ、写真、ラジオ、過去帳、位牌等を持ち込み、配置を工夫して落ち着いて憩える暮らしとなるように支援している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	車椅子使用の利用者が多いため家具などの配置を工夫し自立した生活が安全に移動できるよう支援している。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)		1 毎日ある
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
		0	4 ほとんどいない